**報告書**

|  |  |
| --- | --- |
| クラス番号 | R4SA01 |
| 氏名 | 青木宇宙 |
| 提出日 | 2021/06/14 |
| 期間 | 2021/06/14 ~ 2021/06/18 |

**研究テーマ：**

●既存のタスク管理アプリはビジネス向け・個人向けのみで学生に特化したものは存在しない。

●コロナウイルス蔓延による遠隔授業・オンライン就活が重なった私たちの世代は、学校からの連絡（課題）・企業からの連絡がメールに集中し、潜在タスク・優先順位の管理が大変で不便に感じる場面が多々あった。

以上2点から学校(講師)とのやり取りに特化した学生向けのタスクの管理（主に可視化）をテーマとし卒業研究とする。

〇概要

既存アプリを対象とし方式ごと（カレンダー方式・ToDoリスト方式・カンバン方式）にタスクの可視化（表示方法のみでなく入力方法・独自機能・入力項目・カラーバリエーション等）方法を学生が使用する際の利便性を考慮した上で分析し、データ化する。

（現状、学生観点のタスク管理方法についてのデータが存在しないため研究として成り立つという考え方）

そのデータをもとに、実際にアプリを作成しデータと共に研究成果とする。

（進捗度合いにもよるが、可能ならばタスク表示画面のみ上位２パターン程作成する可能性あり）

**確認事項**：

１．個人の作業内容（今週・来週・現在の工程）

２．現状の問題点

３．問題点に対する対策

４．メンバーの作業内容

５．メンバーの進捗

６．全体のスケジュール（メンバーの現在の工程・年間）

７．全体の進捗

８．来週の予定（メンバー・チーム）

９．現状の問題点（メンバー・チーム）

１０．問題点に対する対策（メンバー・チーム）

**１．個人の作業内容（今週・来週・現在の工程）**

今週

Asanaについてのレポートを完成させる。

TickTick(ToDoリスト)について調査を行い、レポートを作成する。

来週

TickTickについてレポートを完成させ、かんばん方式のアプリについての調査レポートを作成する。

現在の工程

TickTickについての資料集めと、レポート作成

**２．現状の問題点**

今週は特にないです。

**３．問題点に対する対策**

引き続き集中して頑張る。

**４．メンバーの作業内容**

清さん

・カレンダーアプリの調査のレビュー

・ToDoリストのアプリの調査

長井さん

・レビュー結果により、必要となった追加調査

・方式ごとのレビュー終了後に相関分析を行うことなった為、分析を担当。

渡部くん

・カレンダーブラッシュアップ

・ToDoリスト機能まとめる

澤野くん

・カレンダーアプリの機能のレポート作成

**５．メンバーの進捗**

長井さんがまとめる能力が一番優れていると感じたので、メンバーが作成したレポートの研究を行ってもらっています。ほかのメンバーには引き続きToDoリストについてのレポートを作成してもらっています。

**６．全体のスケジュール（メンバーの現在の工程・年間）**

メンバーの現在の工程

調査対象に対し、可視化(入力・出力方法)などに視点を置き、レポートにまとめてもらっている。（現在はToDoリスト）

長井さんはメンバーが作成したレポートをまとめ研究を行ってもらっています。

年間

調査　→　研究　→　アプリ作成　→　評価　→　結論

**７．全体の進捗**

完成（発表できる状態）が100％とすると、まだ30％ほどだと感じます。

調査方法と研究方法が確定し、順調に進めていると感じます。

**８．来週の予定（メンバー・チーム）**

メンバー

ToDoリストについてのレポートを作成し、レビューしあい、終わり次第かんばん方式についてレオポート作成を行う。

カレンダーについての調査結果を共有し、濃度を合わせる。

チーム

レビューしあった結果に対し、自分の意見や使えそうなアイデアがないかをチームで共有しあう。

**９．現状の問題点（メンバー・チーム）**

メンバー

全体的におおきな問題はなく、順調に進んでいけていると思います。

チーム全体

スケジュール管理に少し不安がある。

**１０．問題点に対する対策（メンバー・チーム）**

メンバー

今週は問題なさそうです。

チーム

リーダーの僕がしっかりスケジュールに対することをチームに話しておらず、不安を持たせてしまったので、情報共有をしっかり行うようにする。